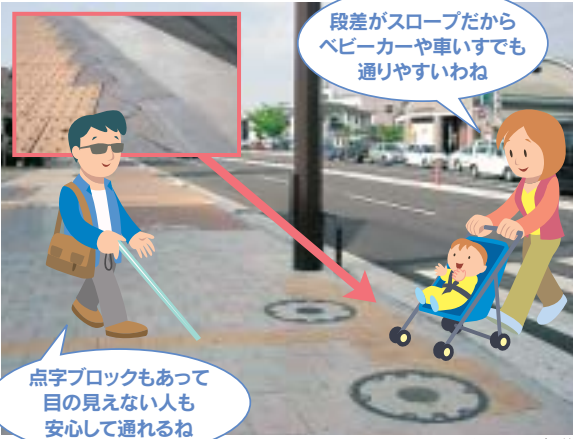


ユニバーサルデザイン(UD)を知っていますか？

ユニバーサルデザインとは、「すべての人のためのデザイン」。お年寄りや障害のある方はもちろん、子ども、妊産婦や子育て中の方、観光客や外国人など、始めからみんなが使いやすいように建物やまち、サービスなどをつくっていくという考え方です。

佐賀県では、だれもが安心して、楽しく暮らせる元気なまちを目指して、まちづくり、ものづくり、情報・サービスづくりなど、社会のあらゆる分野でユニバーサルデザインの取り組みを進めています。



▲やさしい歩道

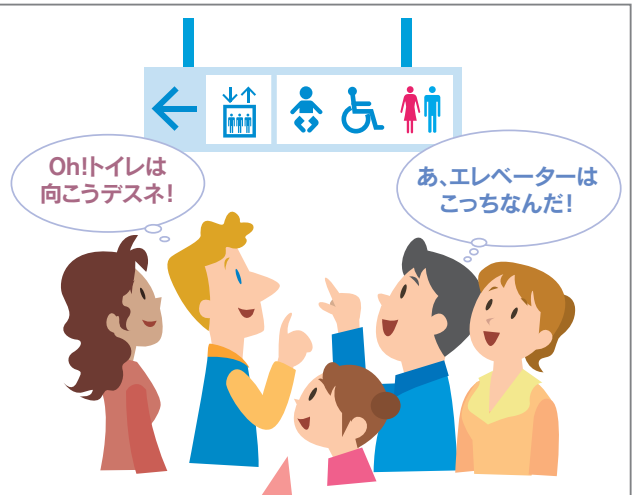
みんなにやさしい歩道、広がっています。

歩道のちよつとした「段差」、気になったことはありませんか？歩行者や自転車、移動しにくい原因になっていました。県では、すべての人にやさしいまちを目指して、段差をスロープ化したり、点字ブロックを設置するなど、歩道にも「ユニバーサルデザイン」を取り入れています。

みんなに分かりやすく！「絵文字の案内板」の巻



どこに何があるのか分からず困っています…



大きな絵文字で、必要な情報がみんなに分かる、これもユニバーサルデザインです。

無料メールマガジン

「月刊 佐賀UD通信」の登録募集中！

県内外のユニバーサルデザイン(UD)に関する話題やイベント情報、身近で頑張る人などを楽しく紹介しています。

月刊 佐賀UD通信

詳しくは 県地域福祉課 ☎0952(25)7053 ✉chiikifukushi@pref.saga.lg.jp

日韓交流史に触れる 韓国「吉野ヶ里展」が大盛況



▲来館者の注目を集めている物見櫓(やぐら)。高さ約3メートルで、本物の約1/4サイズ。

吉野ヶ里遺跡をはじめとする、佐賀県の弥生遺跡から出土する遺物は、韓半島から出土する物と大変よく似ています。韓国国立中央博物館の「吉野ヶ里展」(12月2日まで開催)では、それらを比較展示することで、弥生時代の日韓交流史を分かりやすく紹介しています。10月28日には、入場者数1万人を突破し、韓国人だけでなく、日本からのツアー客、ソウルの日本人学校の家族連れ、外国人観光客など、大勢の方々にご覧いただきました。10月27日には日韓合同で勾玉作りや弥生土器(プリカ)復

元などの体験プログラムを開催したところ、大変好評でした。来館者からは、「吉野ヶ里遺跡の展示物などを見て、集落跡地や復元されている建物など、実際に見てみたいという思いが強まりました。ぜひ佐賀へ行ってみたいと思います」という感想が寄せられ、今回の展覧会が佐賀県の顔ともいえる吉野ヶ里遺跡の国際的なアピールにつながっています。韓国で好評を博している展覧会の里帰り展が、来年1月1日(元日)より佐賀県立美術館で始まります。韓国の子どもたちにも人気だった、体験プログラムも開催しますので、ご家族連れでぜひお越しください。

里帰り展
吉野ヶ里遺跡と古代韓半島
—2000年の時空を越えて—
平成20年1月1日(火祝)〜
2月11日(月祝)
佐賀県立美術館にて開催

詳しくは 県文化課 ☎0952(25)7233 ✉bunka@pref.saga.lg.jp

最高級の県産のり 新ブランド名は「佐賀海苔®有明海一番」



「佐賀のり」の生産量は4年連続日本で、全国屈指の味と品質を誇っています。ところが、国産のりには原産地表示が義務付けられていないため、メーカー独自の商品名で販売されることが多く、たとえ産地が表示されていても「有明海産」というのがほとんどです。

県と佐賀県有明海漁協では、「佐賀のり」の高品質を際立たせ、他産地との差別化を図るため、今季から厳選した県産のりを「佐賀海苔®有明海一番」という新ブランド名で販売します。これまでの色、つや、形といった見た目の等級付けに加え、うま味や香り、口どけの良さなど、消費者視点による評価基準をクリアした物のみを「佐賀海苔®有明海一番」として認定します。

初めてとなる今期の出荷量は全体枚数の0.03%程度で、一枚当たりの価格は平均単価(10・54円)昨年度産の10倍以上を想定しています。新ブランドの確立により、全国に「佐賀のり」日本一という認知度を高め、県産のり全体の活性化を目指していきます。



「佐賀海苔®有明海一番」の選定基準

- ・うま味レベル、香りレベルが「優」以上
- ・口どけが良くおいしい
- ・色、つや、形が美しい
- ・秋ノリと冬ノリが一番摘みの初物
- ・生産者、漁場、採苗日、製造日など育成記録がはっきりしている など

詳しくは 県流通課 ☎0952(25)7252 ✉ryuutsuu@pref.saga.lg.jp